

お父さんと子どもが楽しく交流できるイベント

「第2回 お父さんと子どものチャレンジセミナー」を開催しました!

仕事の都合などでなかなか町内の活動やボランティア活動に目を向けられないお父さん達を対象に、楽しく地域活動に参加してもらえるよう、このチャレンジセミナーを企画いたしました。このイベントは、父子で楽しい時間を過ごすとともに地域の人と交流することで、お父さんが地域活動にふれるきっかけづくりを目的としています。

今回は、2月に開催した第一回チャレンジセミナーに参加していただいたお父さんの中から3名の方が中心となって企画・運営をしました。企画会議では、堅い雰囲気ではなく気軽に楽しめるような内容にしたいなどの意見が出ました。こうして出来上がった今回のチャレンジセミナーは、同年代のお父さんが企画しただけあって、参加者のみなさんに楽しんでいただけました。

1日目 7月26日 手打ちうどんにチャレンジ!

当日集まったのは15組、計40人。初めて会うみんなと初めての体験…最初はちょっと緊張気味の子もたちでしたが、うどん打ちが始まると会場が笑顔であふれました。



みんなで作ったうどんはおいしいなあ!

2日目 8月2日 手作りおもちゃにチャレンジ!

ゆらゆら揺れる「やじろべえ」とろうそくの火で進む「ボンボン船」を作りました。ボンボン船のスピードにはビックリ。歓声があがりました。



スイスイ進んでおもしろ〜!!

今回のイベントは、定員15組のところを30組の方から応募がありました。たくさんのご応募、どうもありがとうございました。残念ながら抽選漏れで参加できなかったみなさん、ごめんなさい。次の機会にもぜひご応募ください。

次回の「お父さんと子どものチャレンジセミナー」を一緒に企画しませんか!?

お父さんと子どもが楽しめる企画と一緒に考えて、イベントの運営に携わってくださるお父さんを募集しています! 企画していただいたお父さんは、無条件でイベントに参加していただけます。企画会議は月1回程度。お子さんと一緒に参加もOKです! お気軽にお問い合わせください。



～第2次地域福祉活動計画～みなみひまわりプラン2～

防災ずきんづくりで地域の交流を!



「みなみひまわりプラン2」の実施項目のひとつに、『防災ずきんづくりで地域の交流』という実施項目があります。この事業は、『防災ずきん』を作ることが主な目的ではありません。防災ずきんを作る過程で人と人との交流を通して、住民の方々がお互いを知り、さらに地域ぐるみでの防災に対する意識向上などさまざまな効果が期待できると考えられます。皆さんも、防災ずきんづくりを通して地域での交流を図りませんか? モデル実施として下記の通り実施しました。

「防災ずきんをつくろう」

日時：平成21年8月27日(木)
場所：名古屋市南児童館
協力：第2次地域福祉活動計画サポーター1グループ
名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク
名古屋市立桜台高等学校

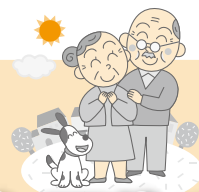
※なお下記のイベントでも実施を予定しています。

「伊勢湾台風50年市民防災の集い」

日時：平成21年9月5日(土)
場所：大同大学
協力：第2次地域福祉活動計画サポーター1グループ
名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク
名古屋市立桜台高等学校



世界に1つだけ!
オリジナル防災ずきんづくりに挑戦中!



お互い様の地域をもう一度

～シルバーパワーを活用した地域力再生事業～

地域が抱える様々な課題を地域の支えあいにより解決することと50歳以上の方の地域活動の参加促進を図ることを目的とした、名古屋市から委託を受けて実施している事業で、平成20年10月から、南区、東区、港区、天白区で実施されています。各区で2つの小学校区がモデル学区として取り組んでいます。南区では、**明治学区**と**道徳学区**が取り組んでいます。

南区社会福祉協議会では、そんな、明治学区、道徳学区をサポートしています。

主な取り組みをご紹介します。

明治学区「交流することからはじまる地域のつながり」

明治学区には、困っている住民がいなくて一人暮らしや昼間一人になる高齢者、障がい者を日常から気にかけて、緊急時などには民生委員や関係機関などにつなぐボランティア活動をしている人が100名程います。そういった活動を中心として住民同士が連携を取り合いながら助け合っています。

その他にも、住民同士の普段からのつながりづくりのために、交流の場を多く設けています。

5月26日に子育て中の親子、一人暮らしの高齢者、学区にある障がい者グループホームの方との交流会を小学校で開催しました。明治学区の方が多く所属するボランティアグループによる「手打ちうどん」がふるまわれました。

また、9月15日には一人暮らし高齢者が小学生に伝統あそびを教えるなどする交流会も企画中のことです。



▲5/26の交流の様子
おいしい手打ちうどんをありがとうございます

道徳学区「町内にある助け合いの仕組み」

道徳学区では、町内ごとに助け合いの仕組みが完成し、現在では全町内（31町内）で様々なボランティア活動が行われています。

1町内で6名以上のボランティア（町内住民）がいて、何か困りごとがあるとそのボランティアが中心となり、その解決にあたります。

活動内容は様々で、新聞・雑誌の回収、蛍光灯の取りかえ、庭木の手入れ、買い物の付き添い、入院中の方の犬の散歩、認知症高齢者の話し相手などその他にも困っていても誰に何を相談していいのかわからない人のために個別訪問して「困りごとはないか？」と聞いて回ったり、寂しそうにしている人がいれば話をしたりなど、困っている人をボランティア側から発見する活動も行われています。



▲8/23 個別訪問の様子
おはようございます。お変わりありませんか？